平成２７年度事業報告書

社会福祉法人

こどもの国協会

平成２７年度事業報告

１．　平成２７年度、理事会及び評議員会の開催について

（１）第８０回理事会

- 日 時 平成２７年4月１５日（水）午後 ４時２０分～
- 会 場 スクワール麹町７Ｆ「シャルマン」
- 議 案

第１号議案 理事長の選任について

上記案が審議され、承認された。

（２）第７１回評議員会

- 日 時 平成２７年5月１８日（月）午前１０時３０分～
- 会 場 スクワール麹町３Ｆ「錦」
- 議 案

第１号議案 平成２６年度事業報告について
第２号議案 平成２６年度決算について
第３号議案 理事の選任について、常勤理事の選任について
その他　報告事項

上記３案が審議され、承認された。

（３）第８１回理事会

- 日 時 平成２７年5月１８日（月）午後 １時３０分～
- 会 場 スクワール麹町５Ｆ「寿」
- 議 案

第１号議案 平成２６年度事業報告について
第２号議案 平成２６年度決算について
第３号議案 常勤理事の選任について
その他　報告事項

上記３案が審議され、承認された。

（４）第７２回評議員会

- 日 時 平成２７年１１月１３日（金）午前１０時３０分～
- 会 場 こどもの国 ２階会議室
- 議 案

報告事項　平成２７年度上半期事業報告
評議員の交代について
その他

（５）　第８２回理事会

- 日 時 平成２７年１１月１６日（月）午前１０時３０分～
- 会 場 こどもの国 ２階会議室
- 議 案

第１号議案 評議員の選任について
報告事項　平成２７年度上半期事業報告
その他

上記案が審議され、承認された。

（６）　第７３回評議員会

- 日 時 平成２８年３月２４日（木）午前１０時３０分～
- 会 場 スクワール麹町５Ｆ「寿」
- 議 案

第１号議案 平成２８年度事業計画について
第２号議案 平成２８年度予算について
その他　報告事項

上記２案が審議され、承認された。

（７）　第８３回理事会

- 日 時 平成２８年３月２４日（木）午後　１時３０分～
- 会 場 スクワール麹町４Ｆ「羽衣」
- 議 案

第１号議案 平成２８年度事業計画について
第２号議案 平成２８年度予算について
その他　報告事項

上記２案が審議され、承認された。

２．入園者の動向

（１）年間入園者

27 年度の有料入園者数の状況は、年間を通して好天にめぐまれたほか、開園 50 周年記念イベントなどの開催により、大幅な増となった。

年間有料入園者数については、９０４,０６０人と、前年度より６０,３２９人も増え、平成５年度（１９９３年度）以降では最高の数字となった。

上半期では、前年比４万３千人増となる 51 万８千人の入園者があった。

これは、G・.W.期間中に１度も雨天がなかったのに加え、５月 28 日に開催した開園 50 周年記念式典のテレビ放映などが入園者増につながったとみられる。

また、９月のシルバーウィークも、４日間で５万５千人の入園者があり、８月、９月、10 月については、３ヶ月連続で８万５千人を上回る状況となった。

さらに、下半期については、正月も暖かな日が続き、３日間で１万５千人の入園者があった。なお、急激な気温上昇の影響でスケート場の氷が溶けて、営業中止となった日もあったが、全体的には好調で有料入園者は３８万５千人と、前年度と比して１万７千人の増となっている。

（２）プールの運営状況

営業期間は、７月１８日（土）～８月３１日（月）の４０日間で、有料入場者数は８１，０１０人、前年度比２，４５４人の増加となっている。

（３）スケートの運営状況

営業期間は、１２月１９日から翌年２月２８日の５９日間で、有料入場者数は５２，１２６人、前年度比６，５２３人の減少となった。これの要因としては、２月１４～１６日の３日間に気温上昇で氷が溶け、営業中止となったことなどが影響したものと考えられる。

３．開園５０周年記念事業

（１）記念式典

天皇皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ、５月２８日（木）に実施した。厚生労働大臣や神奈川県知事等が来賓で出席し、テレビ、新聞、雑誌等で広く取り上げられた。

（２）５０年史の編纂

「こどもの国」設置の経緯から開園５０周年を迎えるまでの歩みをまとめた記念誌を作成した。

（３）記念イベントの開催等

①記念入園券の発行

開園日から現在までの 50 年の歴史をたどる写真を用いた 14 種類の記念入園券を制作し、４月１日から52 万５千枚を発行した。

②感謝状の贈呈

開園 30 周年以降今日までにおいて、こどもの国の発展に尽力した協力団体等（２６企業・団体、個人２人）に対し、感謝状の贈呈を行った。

③記念植樹等

・天皇陛下から賜ったユウスゲ５０株を園内２箇所に植栽した。
・御下賜金により、アジサイ園を新設し、約２千５百株を植樹した。
・金宝樹（ブラシノキ）紅白５本を、牧場近くの内周道路脇に植樹した。
・園内の樹木にＱＲコード付きの名札４５０枚を設置した。

④記念写真展

開園５０周年記念写真展を朝日新聞社と共催し、６箇所で開催した。

⑤ワークショップの開催等

・イッツコミュニケーションズの「iTSCOM　STUDIO&HALL 二子玉川ライズ」で５月 16 日、17 日に開催した。こども自動車展示やかざぐるま工作のワークショップを実施し、約３，０００人が訪れた。
・青葉台東急スクエアで６月１日～１４日に開催した。
・東急百貨店本店イベントサロンで 10 月 22 日～27 日に開催した。

⑥バルーンリリース

５月５日の開園記念日にバルーンリリース（風船飛ばし）を実施し、５千個の風船を来園の子どもたちに配布し、一斉に飛ばして５０周年を祝った。

⑦被災地緑化支援記念植樹

首都圏の子どもたちが育てた被災地の苗木をこどもの国に持ち寄る「グリーンウェイブ 2015」を５月 31 日に開催し、授受式を開いた。持ち寄られた苗木を被災地の岩手県田野畑村に運び、７月８日に植樹式を行った。なお、本事業は、国土緑化推進機構、朝日新聞社、森林文化協会との共催実施となっている。

⑧ＪＡＸＡ講演会

はやぶさ２のプロジェクトマネジャーを務めた國中　均ＪＡＸＡ教授の講演会を４月１９日に開催し、３２０人が参加した。また、５０周年記念事業の締めくくりとして、宇宙飛行士である山崎直子さんの講演会を平成２８年３月１２日に開催し、３４０人が参加した。

⑨こどもの国線

東京急行電鉄の協力により、４月末から６月末まで、こどもの国線の車両エンブレムおよびドアの両サイドにラッピングなどを行い、５０周年の PR を行った。

⑩こども自動車「ダットサンベビー」復元披露

日産自動車の協力で復元されたこども自動車「ダットサンベビー」について、３月 28 日～４月 30 日に渡り、日産自動車グローバル本社ギャラリーにおいて展示した。また、平成２７年 10 月末まで日曜日限定で皇太子記念館屋根下において展示した。

⑪フォトコンテスト

「春のフォトコンテスト」を３月２０日～４月１３日、「秋のフォトコンテスト」を１１月１日～３０日に開催したほか、今春と昨秋の入賞作品展を朝日新聞社東京本社コンコースギャラリーにおいて、５月１６日～２８日まで展示した。

⑫開園５０周年記念の寄贈

田辺三菱製薬から来園記念撮影用の「ジュルとチッチの家」が寄贈された。

（４）広報・ＰＲ活動の強化

①朝日新聞東京版に定期掲載

朝日新聞朝刊の東京版にイベント告知「こどもの国だより」を７月から月２回隔週定期で木曜日に掲載した。

②出前こどもの国

出張ワークショップとして東急・小田急の駅構内やそのグループのデパートなどに出向き、かざぐるまの工作を楽しんでもらう「出前こどもの国」を１年間で２３回開催した。

③こどもの国スタンプラリー

東急電鉄と連携して「こどもの国スタンプラリー」を１２月５日、６日、１２日、１３日に開催した。

④こどもの国ニュースの発行

夏休みの８月を除き、年１１回発行した。４万７千から９千部印刷し、うち３万７千部を教育委員会、教育事務所を通じて全国の小中学校に配布、図書館やマスコミ、官庁、企業などにも送付した。朝日新聞、毎日新聞販売店の協力で、横浜市、川崎市、町田市などで約１万部を家庭に配布した。

（５）地域との連携強化

①１１月３日に開かれた「青葉区民まつり」に、かざぐるま工作のワークショップを出展したほか、こどもの国で採れたギンナンを販売した。

②こどもの国周辺の「奈良町連合自治会」による「こどもの集い」の開催にあたり入園を無料としたほか、プール（７月２７日）及びスケート場（１２月１９日）を無料開放することにより、地域との連携を図った。

③３月５日（土）、青葉消防署の防災フェアの会場として、はしご車搭乗体験、放水体験などを入園者が体験した。

④総合的学習の一環として、町田市の中学校からの職場体験を受け入れた。また、地元小学校の生活活動の一環として、竹林整備と中央広場の花壇へのチューリップの植栽を実施した。

４．主な事業

「こどもの国協会の解散及び事業の承継に関する法律（昭和５５年法律第１９号）第１条第３項に掲げる事業として、既存施設・設備を引き続き運営するとともに、豊かな自然を活用した各種の催事・事業を進め、学校教育では得がたい学びの場、自然とのふれあいの場、遊びの場を提供した。

（１）農作業体験イベント

みどりのボランティアの協力によりボランティア畑で各種農業体験イベントを開催。イモを収穫してもらう「家族でジャガイモ掘り」、「家族でサツマイモ掘り」や枝豆収穫、カモミール狩りなどを実施した。

（２）自然との触れ合いイベント

子どもたちに自然に触れ楽しんでもらうため、４月に野草を摘んでてんぷらで食べる「春をてんぷらで味わおう」、５月に「虫とりをしよう」、６月に「ザリガニ釣り」、７・８月には夜のイベント「セミの羽化とカラスウリの花かんさつ会」、９月に「バッタを捕まえてみよう＆飛ばし大会」、１０月に「クモのこだわりかんさつ会」及び「ムクロジの実で遊ぼう」、１月に「冬の野鳥のかんさつ会」、３月には「「シイタケを育てよう」などを実施した。

（３）自主イベントの安定的な開催と強化

さくらまつり、こどもまつり、梅まつり、ツバキまつりを継続して実施した。

また、ノルディックウォーキングを隔月から毎月開催へと大幅に強化したほか、顧客満足度を高めるため、誰でも参加できる「野外でバームクーヘンをつくろう」

や「マキでピザを焼こう」などのイベントを開催した。

（４）サンマを炭火で食べる会

９月２６、２７日に２３回目を実施し、２，９９１人が参加した。女川魚市場、女川魚市場買受人協同組合、気仙沼漁業協同組合から３，３００匹のサンマを無償で提供いただき、売上金全額と会場募金を合わせた８３８，６６７円を復興支援として気仙沼、女川に寄付した。

（５）助成による事業の実施

①春まつり、秋まつり（朝日新聞社助成）

春（５月３日～５日）及び秋（１０月１０日～１２日）の行楽シーズンに、こども達が楽しめる多彩なイベントを開催した。

②ジャンボカルタ取り、どんど焼き（テレビ朝日福祉文化事業団助成）

新年の行事として「ジャンボカルタ取り大会」（１月２日、３日）及び「どんど焼き」（１月１１日）を実施し、焼きイモなどを振舞った。

③牧場まつり（雪印こどもの国牧場主催）

１０月３１日と１１月１日に開催した。羊レースやソフトクリームの早食い競争、牛の乳早搾り大会などのイベントなどが行われた。また、雪印メグミルク主催の牛乳まつりが５月３１日に開催された。

④児童福祉施設駅伝大会（資生堂社会福祉事業財団助成）

１１月２８日に神奈川県内の児童福祉施設の子どもたちが参加する「児童福祉施設駅伝大会」及び「児童福祉施設女子駅伝大会」、１月１６日に神奈川県内の児童福祉施設の子どもたちや職員が参加する「養護施設卒業生送別マラソン」が開催された。

⑤「タイムトラベル」の整備（日本宝くじ協会）

遊具広場に「タイムトラベル」の新しい遊具を設置した。

（６）自主事業の実施

①吹奏楽コンテスト

第３４回の吹奏楽コンテストを１０月１８日に開催し、東京・神奈川の小中学校２５校の吹奏楽チームが参加した。特別賞は横浜市中川中学校となった。

②青空コンサート

近隣の中学校の吹奏楽部が参加して中央広場で演奏を披露する「春の青空コン

サート」を5月１６日と１７日に開催し、２１校が参加した。また、吹奏楽コンテストに合わせて「秋の青空コンサート」を開催し１０校が参加した。

③少年サッカー大会

第３４回こどもの国少年サッカー大会を１１月６日、７日、１４日の３日間で開催し、東京都、神奈川県近隣６市から選抜された小学低学年から小学高学年の各１２チームが参加した。また、少女の部には６チームが参加した。

５．その他

平成２３年３月 11 日の大震災以降、こどもの国は被災者に対し、入園料金、夏季のプール及び冬季のスケート利用料金を無料としている。また、被災者支援を行う各団体（ＮＰＯ法人等）にも可能な限り協力している。

以上